

東日本ユニオンにいがた

http://www.geocities.jp/higashinihonunion_niigata/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2019年3月1日発行

第18号 (通巻第118号)

発行者: 星山 圭 編集者: 教育・広報部

酒田地区で 新たな仲間が加入!



東日本ユニオンに
結集しよう!

新たなグループ経営ビジョン「変革2027」を我がものとし、自らがイメージするJR東日本グループの将来像を実現するために日々の努力を積み重ねる仕事にむき合うJR労働者に対し、その労働力の価値に相応しい賃金を支払う責務が経営側にはあります。中央本部は2月19日、申14号として2019年度賃金改善に関する申し入れを提出しました。

一律6,000円の引き上げを要求!

本部申14号・2019年度賃金改善に関する申し入れを提出!

1月30日に発表されたJR東日本の第3四半期決算は、単体で営業収益・運輸収入を7期連続の増収とするともに、第3四半期決算としては過去最高となりました。部外委託の増など物件費が増加したことなどによりすべての利益が減益となったものの、現場第一線で働く社員の努力により営業収益を大きく伸ばしたことで影響を最小限に抑えました。連結は増収増益で第3四半期決算としては過去最高となりJR東日本グループの全社員の努力が表れた決算となりました。しかし、常に自らの労働力の質を高め、結果を出し続けるJR労働者の賃金実態は未だに適正値とは言えません。5年連続の賃金改善を経ても生活は向上に至らず、10月に予定されている消費税の10%への増税は家計の先行きを不透明にし続けています。

500名が会場に結集! 勝ち取ろう満額回答!

2019春闘総決起集会



中央本部は2月24日、東京のホテルラングウッドにおいて2019春闘総決起集会を開催しました。新潟地本から約180名、全体では500名が結集し会場に申し入れを行いました。重要なのはJR労働者の結集をつくること。この集会がゴールではなく、このエネルギーをもって職場において春闘の風を起こして欲しい」と訴えました。

各地本・各業種別協議会の代表者から2019春闘勝利に向けた決意表明が

行われ、地方や業種を越えて一丸となってたたかうことを確認しました。また、国労東日本本部、JR東日本新鉄道労働組合、JR東労働組合の3労組から寄せられた連帯メッセージが披露されました。労働者の力を結集し、要求満額獲得に向け、職場からたたかいかいをつくり出しましょう!

本部申14号申し入れ内容

1. 基本給ならびに初任給を、社員一律6,000円引き上げること。
2. 定期昇給を実施すること。昇給係数は4係数とする。
3. エルダー社員の基本賃金を、一律6,000円引き上げること。
4. グリーンスタッフの基本賃金を、一律6,000円引き上げること。

多くの項目において要求が前進! 短時間行路の運用には課題を残す

団体交渉の日程決定!

申14号
2019年度
賃金改善に関する
申し入れ

2019年3月4日(月)
13時00分より

団体交渉に向けて
職場からたたかいかい
作りだそう!



新潟地本は2月19日、申7号「システムチェンジ」に対しての申し入れの団体交渉を行いました。新たに設定される短時間行路に関する課題の克服をはじめ、安全安定輸送や質の高いサービスの提供ができるダイヤ改正の実現に向けて交渉を行いました。

新潟駅電留線の乗務員で支社側は、組合側と同様休憩室へのテレビ設置をな問題意識は持っている。求めると支社側は、備品購入としました。地本交渉団は入のため時間がかかるか、女性社員の意見をもとに、3月中旬にアンテナ工事をしたいと回答しました。石打駅の男性用浴室を2階に設置するように求め、時期はまだ確定しないが次年度以降に施工するとの回答を受けました。新潟新幹線運輸区の社員用駐車場確保について、申し入れ提出後に新幹線運輸区で解決が図られたことを確認しました。新潟運輸区の女性用浴室設備の増設要求に対し

ついて、年度末まで適用者がいることで作成し、その後いなくなっても見直すタイミングは次のダイヤ改正になるとしました。育児介護Aの利用者が居ない場合、指導担当やフルタイムの乗務員が乗り続ける結果になることが想定されることから交渉団は、どこかで枠外から枠内へ入れる必要性を指摘しました。支社側は想定していないとする。一方で、基本行路に組み込むケースもないわけではないとの考えを示しました。

